

学校施設の計画的な更新

学校施設計画課

学校施設更新の状況

令和3年3月に学校施設更新計画を策定し、令和4年度から建て替えに取り組んでいます。

取組対象校	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11～
向原小学校	設計	工事						
目黒南中学校		設計		工事				
目黒西中学校		設計		工事				
鷹番小学校			設計	工事				
下目黒小学校				設計				工事
大岡山小学校					設計			工事

各校の取り組み

- 向原小学校：令和6年度に仮設校舎が完成、移転後、既存校舎の解体を始めます。
- 目黒南中学校・目黒西中学校：基本構想に沿って、基本設計、実施設計を進めます。
- 鷹番小学校：令和6年度から、基本構想策定作業に着手します。
- 下目黒小学校：区民センターと同時に建て替えます。令和11年度の着工予定です。
- 大岡山小学校：第八中学校の跡地を活用した計画を検討します。



向原小学校のイメージ図（令和9年度完成予定）

新校舎設計のポイント1

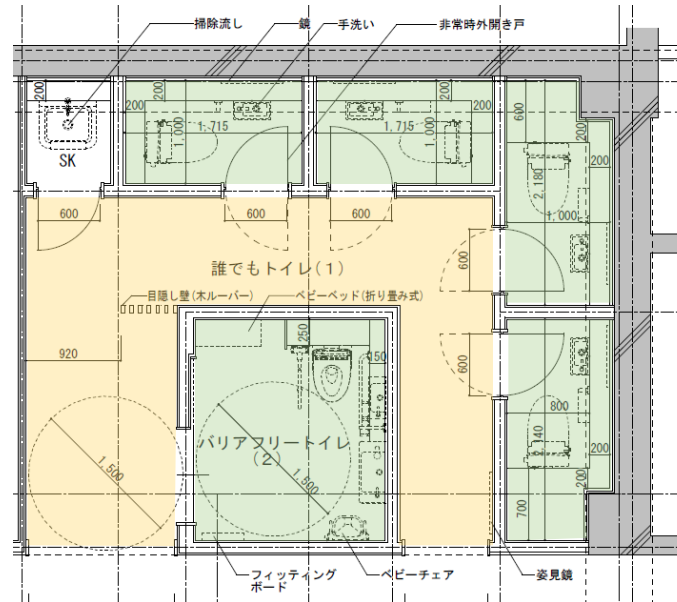
※イラストや図面は検討中のものであり、変更することがあります。

①ロッカーのない教室



- ロッカーを教室の外に出すことで、教室を広く使うことができます。
- 個別的な学び、集団的な学びなどの多様な学びに対応できます。

②個室トイレ



- 性の多様性などに配慮し、一部のトイレを独立した個室にします。
- 個室型トイレは、一般のトイレよりも少し広くして、中に手洗いや鏡を設置します。

③多様な共用空間



- 多様な教育活動に応じた空間の選択ができるよう共用空間を充実させます。
- 教室以外の児童・生徒の居場所となり、豊かな生活の場となります。

新校舎設計のポイント2

※イラストや図面は検討中のものであり、変更することがあります。

④図書館・メディアセンター



○学校図書館は、広くオープンな空間で、子どもたちの探究的な学びをサポートします。

○個別席や広い机を設け、多様な活用ができます。

⑤環境への配慮



▲屋根の断熱

▼太陽光発電パネル



※写真は目黒中央中学校の工事の様子

○断熱化、太陽光発電、高効率機器など、環境に配慮した技術を採用します。

○学校の省エネは、環境教育にもつながります。

○避難所機能の充実

- ・地震時、水害時の対策
- ・太陽光発電と蓄電池を併用して、災害時の電源として活用
- ・バリアフリー化

○相談機能の充実

- ・個別相談やカウンセリングの充実
- ・教室になじめない児童・生徒の学校の居場所としても活用

学校施設計画課では、新校舎の設計に当たって、文部科学省の検討会の報告や、近年の学校建築の事例を参考にしながら、学校施設の充実に取り組んでいます。